

平成31年度 事業計画・予算 概要

【公益目的事業】

I 一般会計による事業

- 1 アホウドリの人為的コロニー計画に関する研究（富田直樹）150千円
- 2 皇居調査一吹上御苑を中心とした皇居内鳥類相を明らかにする  
（浅井芝樹、小林さやか、岩見恭子、齋藤武馬、黒田清子）200千円
- 3 普及・広報事業 — 講習会・PR誌・顕彰事業等（平岡 考）5,771千円
- 4 山階武彦助成事業 助成対象者7名 2,000千円

II 文部科学省科学研究費補助金（特定奨励費）による研究事業

「日本最大の鳥学関連資料の維持管理・拡充・公開に関する研究事業」  
30～32年度採択 31年度交付額56,000千円

III 科学研究費補助金（除 特定奨励費）による研究事業

〔研究代表者〕

- 1 山崎剛史 基盤（C）基金 30～32年度採択 31年度交付額（研究直接経費）600千円 「島の鳥の適応放散はなぜおきるか - 数理モデルと幾何学的形態測定学によるアプローチ」
- 2 森本 元 基盤（C）基金 30～32年度採択 31年度交付額（研究直接経費）1,300千円  
「構造色由来の色彩個体差の発生機構 - 性選択における構造色の意味を探る」

〔研究分担者〕

- 1 森本 元 基盤（B）（一般）補助金 代表者・北海道教育大学准教授 三上 修  
29～32年度採択 31年度分担金（研究直接経費）50千円  
「電柱鳥類学：電柱・電線を介した都市における人と鳥との共生関係の実態解明」  
役割分担「野外調査、行動解析」
- 2 森本 元 基盤（C）基金 代表者・弘前大学 農学生命科学部研究員 笠原里  
29～31年度採択 31年度分担金（研究直接経費）50千円  
「河川の砂礫地減少の影響を受ける鳥類の渡り経路、越冬地および重要な中継地の解明」  
役割分担「野外調査での追跡装置の装着」
- 3 森本 元 基盤（C）基金 代表者・立教大学名誉教授 上田恵介 30～32年度採択  
31年度分担金（研究直接経費）300千円  
「高山帯ガレ場に生息するヒバリ個体群の生活史適応と遺伝構造の解明」  
役割分担「野外調査」

4 山崎剛史 新学術領域研究（研究領域提案型）代表者・東京工業大学工学院准教  
田中博人 30、31、32、33、34 年（2022 年）度採択

31 年度分担金（研究直接経費）900 千円

「微細構造を活用した生物のやわらかい飛翔と遊泳の原理解明と実装」

役割分担「鳥類標本の形態計測と比較生物学的解析」

#### IV 民間助成金による事業

1 サントリー世界愛鳥基金（29～31 年度）

責任者 尾崎清明 31 年度助成金 2,000 千円

「琉球諸島のアジサシ類の保全」

2 嵐山通船 研究助成金（2018～2022 年 5 年間）

責任者 奥野卓司 助成金 500 千円／年

「鵜飼」に関する比較文化誌的研究

#### V 受託・請負事業（詳細は各論に記載）

1 受託事業 計 3 件 53,200 千円

2 請負事業 計 3 件 23,200 千円

合計 6 件 76,400 千円

#### 【収益事業】

当財団が東京都渋谷区南平台町に所有するマンション（イースタンホームズ南平台）3 室を賃貸し、その収益を一般会計に繰り入れ、公益目的事業の用に供する。家賃収入年間 15,200 千円。

公益目的事業への繰入予定額 3,706 千円